



# 奄美医療生協NEWS

## お元気ですか

発行者  
奄美医療生活協同組合  
鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7  
電話0997-52-0585  
FAX 0997-52-8881

2024年6月26日(水)アマ  
ホームPLAZAにて第47期通常  
総代会が、本人出席78名、書面議  
決56名の総数134名の総代参加で開



### 第47期通常総代会開催 いのちの章典の実践と民医連綱領の実現 を目指し経営改善に取り組もう

- 2面 各区組員活動
- 3面 第46回県連交流集会報告
- 4面 第47期通常総代会写真集
- 5面 原水禁世界大会案内・国民平和行進報告
- 6面 医療福祉生協連のいのちの章典
- 7面 家でできる食中毒予防
- 8面 読者投稿 平和写真コンテスト案内  
・理事会だより  
・ゆいちゃんがいく

催されました。福岡雅彦理事長より開会挨拶と総代会成立の宣言が行われ、祐名新太郎専務理事より、1号議案「2023年度活動報告・事業報告・決算報告及び欠損金処分案の承認の件」2号議案「2024年度活動計画・事業計画・予算承認の件」3号議案「監事監査規則変更の件」4号議案「役員選任の件」5号議案「2024年度役員報酬決定及び役員退任慰労金支給承認の件」6号議案「議案決議効力発生の件」についての6つの議案提案が行われました。

提案については、経営を中心に地区別総代会で出された質問、要望について項目ごとに理事会からの回答を含め丁寧な説明が行われました。

議案審議の中で、総代2名、地域理事2名より提案を支持する立場での発言がありました。下方支部の岸田松美総代からは、支部での2030年ビジョンの取り組みについて「集う楽しみ・つながる安心」をテーマに取り組んだ班会、「まちなみウォーキング」を見た、馬毛島基地埋め立て用の巨大テトラポットの光景で考えさせられた「平和の在り方」等、他支部でも参考になる報告でした。徳之島北支部の津田信夫総代からは、支部の津田信夫総代からは、支部の紹介と、組織四課題について支部での地域とのつながりを活かした取り組みで達成できた事が報告されました。南大島区西方支部担当の森直弘理事からは、区の3支部合同負担でのネット環境構築とスマホ教室等、今後の支部活動の広がりについて期待できる取り組みについての報告でした。北大島区笠利支部



担当の泉スヤ子理事からは、支部立ち上げ21年目に当たり、立ち上げた時の通信教育による医療生協の学習、健康チェックでの自治体とのつながり等、教訓的な取り組みが紹介され、11月に設立記念交流会を開催するとの事でした。提案された、第1号議案から第6号議案すべてが、全会一致で採択されました。



役員選任では、徳之島北支部担当の元井敦巳理事が勇退され、新たに仲宏子さんが選任されました。天城支部の白間健治理事がご逝去されたことと新たに秋田浩平さんが選任されました。全区では、老健せとうちの増田幸雄施設長の定年退職に伴い新たに盛寿賀乃事務長が選任されました。2024年度入職の新人職員紹介と赴任医師の紹介が行われました。

(4面に写真集あり)

北大島区 龍郷支部

2030年ビジョンの実践！  
6年ぶりの健康チェック・リハビリ



6月19日(水) 龍郷支部では、2030年ビジョンの実践として、大勝集落サロン「寺山会」で職員4名が参加し健康チェックとリハビリ体操を実施しました。6年ぶりの取り組みでしたが19名が受検し、体操にも参加しました。奄美中央病院の川畑夏樹理学療法

徳之島以南区 伊仙支部

ターゲットポッチャで健康づくり  
あまくま迷球に大笑い

6月28日(金)、伊仙支部の上晴さわやか班で班会を行いました。健康チェック、ラジオ体操のあとターゲットポッチャを体験しました。



ターゲットの真ん中にボールを投げる練習をしてから「青チーム」と「赤チーム」に分かれてゲームスタート。「ちよつと強すぎた」「なかなか思うところに投げられないね」など感想も聞かれました。また、的の中に上手くボールが入るとみんなで大喜び。今回は、お孫さんの参加もあり子供から高齢者まで大笑いしながら楽しみました。

ポッチャとは、イタリア語で「ボール」を意味します。ポッチャ競技は障がい者スポーツですが、障害の有無に関わらず子供から高齢者まで誰もが楽しむことができるスポーツです。

士が「自宅のできる体操」を指導しました。参加者からは「血管年齢が実年齢よりも若かったので嬉しい。体操は明日から早速、始めたい。継続できたらいいな」などの感想がありがとうございました。終了後の茶話会では、参加者から2017年に奄美文化センターで上映された「僕がジョンと呼ばれるまで」の映画(奄美医療生協主催)を鑑賞したことに触れられ、「認知症の件で誰もが抱える不安を希望に変えるヒントになりとても良い映画だった」と振り返りました。帰りには、手作りの美味しいドーナツや漬物などを頂きました。区長さんを始め、サロン参加者の皆様、御馳走様でした!!

地域支援部 福田 雄樹

南大島区 東方支部

みしょう会梅雨明けメニュー  
中華風サラダずし

6月20日(木)に毎月恒例のみしょう会が開催されました。今月のメニューは、冷やし中華の「麺」を「酢飯」でアレンジした「中華風サラダずし」でした。梅雨がまだ明けていない時期でした



が、晴れており湿度も高く皆さん汗をかきながら一生懸命、調理に励んでいました。今回も8食ほど

提供しており、沢山の地域組合員、職員の方々に召し上がっていただきました。7月は体制の都合上、お休みになりますが8月以降は定期的に毎月第3木に開催予定とな

地域支援部 伊 加代子



つておりますので、古仁屋に立ち寄った際は是非ご利用下さい。

地域支援部

嘉野善一郎



Toshi



6月15日(土)から16日(日)において「第46回県連交流集会 in 奄美」が、奄美医療生協「生協会館」をメイン会場に開催されました。参加者は、現地への参加とWeb参加を含め1日目が190名、2日目が130名の総勢320名の参加でした。県連交流集会は、鹿児島民医連所属の鹿児島医療生協・虹の福祉会・メディコープ・県連事務局と奄美医療生協の職員が、それぞれの職種・職場での取り組みを報告、交流する学術集会です。今回は奄美中央病院を主管事業所として、メイン会場とWebでつなぐハイブリッド形式(現地への直接参加と、オンラインで参加する方式:費用軽減や、業務調整が少なく済むメリットがある)で開催されました。



昨年が、全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)結成70周年で、今年は奄美医療生活協同組合創立70周年の年となります。全日本民医連結成の翌年奄美医療生協(当時は奄美診療所)が誕生しました。全日本民医連結成の翌年、第2回大会で、日本復帰したばかりの貧困と疾病に苦しむ奄美に「民主医療機関をつくろう」と決議されたそうです。



記念講演は、全日本民医連会長 増田剛氏が行い「民医連70周年の歴史を礎に無差別・平等の医療と福祉の実現を考える」をテーマに私たちの活動の根底にある、無差別・平等の医療と福祉を目指し苦難を乗り越えてきた取り組みと教訓について、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ地区での紛争等を踏まえ、民医連綱領を基軸とした平和の取り組みが今重要である事など話されました。

パネルディスカッションでは、馬渡耕史氏(鹿児島医療生協医師 元奄美中央病院院長)の「鹿児島民医連の発祥・発展の経緯」、平元良英氏(奄美中央病院院長)の「奄美医療生協の役割と展望」、益田祐子氏(奄美医療生協監事 元看護部長)の「奄美医療生協の看護活動」、組合員を代表して津留弘美氏(中央奄美支部運営委員)の「私と奄美医療生協(仮)」、各テーマに沿ってそれぞれの立場で貴重な資料を紹介しながら報告が行われました。組合員代表の津留弘美氏は、報告の最後に「みんなの協力で徳之島診療所新築移転を成功させよう」と呼びかけました。

今回は、久しぶりに懇親会も開催され、交流を深めることもできました。

記念講演は、全日本民医連会長 増田剛氏が行い「民医連70周年の歴史を礎に無差別・平等の医療と福祉の実現を考える」をテーマに私たちの活動の根底にある、無差別・平等の医療と福祉を目指し苦難を乗り越えてきた取り組みと教訓について、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによる



紬工場の一部を借りてスタートした



奄美医療生協は創立70周年、始まりは奄美診療所

# 第47期 通常総代会 写真集



福崎雅彦 理事長



議案提案 祐名 専務



監査報告 荻迫 監事



新任理事 秋田さん 仲さん 盛 事務長



班表彰



事業所表彰  
リハビリ部門



感謝状 勤続20年  
川畑吉恵さん



平元 院長  
医師研修制度について



赴任医師紹介  
堀部 医師 古賀 医師  
なんと往診途中で  
参加してくれました



2024年度 新入職員紹介



1945年8月6日、9日ー広島・長崎に原爆が投下され、2つの街が一瞬にして、「地獄」に突き落とされました。広島、長崎ではその年のうちに約21万人もの尊い命が奪われました。しかし、原爆を使用したアメリカは、広島・長崎への原爆被害が世界に伝わることを恐れ、厳しい報道管制をおこない、実態は日本国民にも、アメリカ国民をはじめ世界の人びとにも知らされませんでした。

1954年3月1日、アメリカが太平洋ビキニ環礁でおこなった水爆実験によって日本国民は三度の原水爆による被害を受けました。ビキニ水爆被災事件をきっかけに、広島・長崎の被害、放射能による惨禍を広範な国民が知り、核兵器の廃絶を求める「原水爆禁止署名」が全国でとりくまれました。

こうした原水爆禁止を求める大きな国民の声を背景に、1955年8月、広島で第1回原水爆禁止世界大会が、翌56年には、長崎で第2回原水爆禁止世界大会が開かれました。以来毎年、世界の人々と連帯して世界大会が開催されてきました。いまや核兵器廃絶は世界の大きな流れに発展しています。(原水協ホームページより)

今年は、広島をメイン会場として総会、分科会が開催されます。頻繁に行われるロシアによる核威嚇や戦争の脅威、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮の核開発の他、先進大国の核保有数拡大等異常で危険な世界情勢において原水禁世界大会の意義は重要です。2024年夏、核のない世界、平和についてみんなで学び考え行動する時です。

### 原水爆禁止2024年世界大会 日程

**国際会議** 会場：広島JAビル  
**8/3(土)開会総会/セッション1・2・3** 10:00~19:00  
**8/4(日)閉会総会** 10:00~11:00

**広島**  
**世界大会** 会場：広島総合体育館・グリーンアリーナ  
**8/4(日)開会総会** 14:00~16:30  
**8/5(月)分科会/動く分科会** 9:30~16:30  
**8/6(火)閉会総会** 10:30~13:00

**世界大会**  
**長崎** **8/8(木)フォーラム**  
**8/9(金)ナガサキデー集会**  
 会場：長崎市民会館体育館 10:30~13:00




被爆した第五福竜丸



1958年6月20日、広島から宗教者や被爆者、市民たちが「核武装阻止」などを訴え、第四回原水爆禁止世界大会が開かれる東京をめざして行進しました。この平和行進は、沿道の町民ぐるみ、学校ぐるみで出迎えられるなど、各地で大きな反響を呼びました。以来毎年欠かすことなく続けられています。今年奄美行進は、23~24日の期間笠利-龍郷-名瀬を行進し、自治体への要請行動を行いながら24日、御殿浜公園にて約50名が参加し終結集会が行われました。集会では、民商、新婦人、奄美医療生協労組、平和委員会、日本共産党の各代表が挨拶を行い「武力で平和はつくれぬ、軍拡ハンタイ、核をなくせ」を訴えました。集会後市内をアピールしながら行進しました。



出発式あいさつ 笠利支部泉理事

**2024年度の教育学習月間方針に、医療福祉生協連の「いのちの章典」の学びを深め、私たちの事業と運動の目的と役割を再確認し、実践に活かすがあります。私たちの権利と、責任を明らかにした「いのちの章典」について紹介します。**

### 医療福祉生協のいのちの章典（一部抜粋）

2010年日本医療福祉生活協同組合連合会（医療福祉生協連）が発足しました。医療福祉生協は、いのちとくらしを守り健康をはぐくむ事業と運動を大きく広げるため、医療福祉生協連の設立趣意書の内容を基本にして「医療福祉生協のいのちの章典」（いのちの章典）を策定します。

「いのちの章典」は、私たちの権利と責任を明らかにしたものです。いのちとくらしを守り健康をはぐくむための権利と責任ともに組合員として生協を担う私たち地域住民と職員には、いのちとくらしを守り健康をはぐくむために、以下の権利と責任があります。

#### <自己決定に関する権利>

私たちは、知る権利、学習権をもとに自己決定を行います。

自己決定権こそ重視されるべき。知ることができなければ、決められない。先生におまかせではいけない！そのため学習権がある。

#### <自己情報コントロールに関する権利>

私たちは、個人情報保護されると同時に、本人の同意のもとに適切に利用することができるようにします。

自分の情報は自らの同意の元に積極的に利用されて初めて意味を持つ。

#### <安全・安心な医療・介護に関する権利>

私たちは、安全・安心を最優先にし、そのための配慮やしきみづくりを行います。

患者・利用者との協同の取り組みが大事。参加と協同により安全を守る運動を広めていこう、という観点。

#### <アクセスに関する権利>

私たちは、必要な時に十分な医療・介護のサービスを受けられるように社会保障制度を改善し、健康にくらすことのできるまちづくりを行います。

医療・介護を始めとするさまざまなサービスを受けることを保障させること健康づくり、住み続けることのできるまちづくりなど、「いのちとくらしを守り健康をはぐくむ」ための、さまざまな権利を保障させる。幅広い意味をもつ。

#### <参加と協同>

私たちは、主体的にいのちとくらしを守り健康をはぐくむ活動に参加し、協同を強めてこれらの権利を発展させます。

「主体的に」主権在民の立場で健康の自己主権を確立する立場を強調している。医療・介護、健康づくり・まちづくりなど医療福祉生協の実践をさらに発展させる。



2013年6月7日

日本医療福祉生活協同組合連合会 第3回通常総会にて確定

以上、いのちの章典は医療福祉生協のすべての活動をカバーする総論的な内容になっています。支部、班での組合員活動や、医療や介護の事業活動において実践し、身近な取り組みと結びつけて、理解を深めていくことが重要です。

# 家庭でできる食中毒予防の6つのポイント ~厚生労働省より~

奄美中央病院 管理栄養士 岡

夏は細菌による食中毒が発生しやすくなります。外食だけでなく、家庭の食事でも発生します。正しい知識で食中毒を予防しましょう！

**point 1 食品の購入**

消費期限などの表示をチェック!

肉・魚はそれぞれ分けて包む

できれば保冷剤(氷)などと一緒

寄り道しないでまっすぐ帰ろう

**point 2 家庭での保存**

帰ったらすぐ冷蔵庫へ!

入れるのは7割程度に

肉・魚は汁がもれないように包んで保存

冷蔵庫は10℃以下に維持

冷凍庫は-15℃以下に維持

停車中に庫内温度に影響を与える扉の開閉は控えましょう

**point 3 下準備**

冷凍食品の解凍は冷蔵庫で

タオルやふきんは清潔なものに交換

ゴミはこまめに捨てる

こまめに手を洗う

肉・魚を切ったら洗って熱湯をかけておく

井戸水を使っていたら水質に注意

肉・魚を生で食べるものから離す

野菜もよく洗う

包丁などの器具、ふきんは洗って消毒

**point 4 調理**

加熱は十分に(めやすは中心部分の温度が75℃で1分間以上)

作業前に手を洗う

台所は清潔に

電子レンジを使うときは均一に加熱されるようにする

調理を途中で止めたら食品は冷蔵庫へ

**point 5 食事**

食事の前に手を洗う

盛り付けは清潔な器具、食器を使う

長時間室温に放置しない

**point 6 残った食品**

時間が経ち過ぎたりちょっとでも怪しいと思ったら、思い切って捨てる

手洗い後、清潔な器具、容器で保存

作業前に手を洗う

湿めなおすときは十分に加熱する(めやすは75℃以上)

早く冷えるように小分けする

## 食中毒予防の三原則



**つけない**

- ・手洗い
- ・器具の洗浄、消毒

### 増やさない

- ・適切な温度での保管
- ・調理後は速やかに食べる



**やっつける**

- ・加熱殺菌

細菌による食中毒を予防するためには、

- ・細菌を食べ物に『**つけない**』
- ・食べ物に付着した細菌を『**増やさない**』
- ・食べ物や調理器具に付着した細菌を『**やっつける**』

という3つのことが原則となります。



## エコバックを清潔に保つための5つのポイント



目につく汚れやニオイがなくても、肉や魚の汁、野菜の土がエコバックに付着することがあります。そのままにして使い続けると食中毒菌が増殖してしまい、新たに購入した食品に菌が付着してしまいます。普段から清潔にしておきましょう。

- その① 定期的に洗いましょう
- その② 肉、魚、野菜はポリ袋に入れましょう
- その③ エコバックに入れる順番に気を付けましょう
- その④ 食品と日用品を入れるエコバックを区別しましょう
- その⑤ エコバックの持ち運びは、短時間にしましょう



清潔なエコバックでお買い物を楽しみましょう!



# ゆいちゃんがいく No.48 Toshi

ハゲー懇談会ちば意見を聞く場じゃがな 何しとるわけ!  
岸田政権は話を聞く政権ちいっとたんじゃない

大問題になると思わなかった



環境省の思いがり! 露呈水俣病の患者団体などと環境大臣との懇談で団体側が発言していた際に環境省の職員がマイクの音を切る前代未聞の事件が発生しました

いきたくないな

ぬがすぐあやまらん



マイクオフは進行台本に明記されていた  
マイクを切るとは、進行台本にかかれており、そもそも国には話を聞く姿勢などない事がうかがえる  
5月1日に発生した問題に現場にもいた伊藤環境大臣が謝罪に行ったのが1週間もすぎてからだった

国は対象地域の健康調査を実施しない  
生きているうちに救済しないと胎児性もいます



水俣は終わっていない!  
水俣市の病院が原因不明の病気として届けたのが1956年5月1日でした  
その3年後に水俣病が公式認定された  
65年前のことだ  
公式認定後も原因のとなつた排水の垂れ流しを県と国は放置した  
感染拡大は鹿児島県にも広がった  
現在の水俣病は劇症型でなく慢性  
感覚障害、母親からの影響を受け  
た胎児性もいます

命を守るのも環境省の仕事だ!



救済を拒む国の姿勢  
65年も経過しているのに水俣病と認定された方はわずか3000人  
(2022年)うち生存者は357人  
国の厳しい基準のせいだ  
医療生協も水俣検診、現地調査等  
患者救済の取り組みに深く関わっています  
環境省の原点は水俣病です  
立ち返るよう声を上げていこう!

参考:朝日新聞デジタル(5/9)  
NHK ニュース(5/19)

読者投稿 (平和写真コンテストエントリー作品)

## 「蛙たちの春」



### 2024年度 平和写真コンテスト 写真募集

テーマ: 見ているだけで平和を感じる写真

#### 応募方法

《メール》 [honbu@amami-hca.sakura.ne.jp](mailto:honbu@amami-hca.sakura.ne.jp) へ添付して送ってください

#### SDカード等の記録媒体:

メールが送れない方は最寄りの医療生協の事業所でファイルを送ってもらって下さい。

#### 応募締め切り: 2024年10月31日

コンテストは、今年秋の「生協まつり」で掲示、シール投票で抽選します。入賞者へは、賞品を準備します。

## 理事会だより

第12回法人理事会が開催され次の事項が議決されました。

- 1、通知事項
  - ①組織・社保活動報告
  - ②2024年4月の経営報告
- 2、報告承認事項
  - ①第46期第11回理事会議事録の承認
  - ②第46期第21回常務理事会報告
- 3、協議議決事項
  - ①第47期通常総代会について
  - ②2024年度夏期一時金借入について
  - ③規則・規定の変更について
- 4、その他の事項
  - ①2024年6月～2024年8月日程の確認